

## 学校等施設の適正規模・適正配置計画

【令和4年改訂（案）】

## 令和 4 年改訂の考え方と主な改訂点

学校等の適正規模、適正配置に関する法令等の定めは次のとおり。

ただし、本市における適正規模等の考え方については、児童生徒への良好な教育環境の整備を基本とするものの、地理的特性及びそれによる地域コミュニティの形成状況等を踏まえ、今後の方針等を慎重に検討していく。

### < 学校の適正規模・適正配置 関係法令等（参考） >

#### ① 学校教育法

第 38 条 市町村は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない。

※ 中学校については、第 49 条において準用

#### ② 学校教育法施行規則

第 41 条 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

※ 中学校については、第 79 条において準用

#### ③ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

第 3 条 国は、政令で定める限度において、次の各号に掲げる経費について、その一部を負担する。この場合において、その負担割合は、それぞれ当該各号に掲げる割合によるものとする。

四 公立の小学校及び中学校を適正な規模にするため統合しようとすることに伴って必要となり、又は統合したことに伴って必要となった校舎又は屋内運動場の新築又は増築に要する経費 二分の一

#### ④ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

第 4 条 法第三条第一項第四号の適正な規模の条件は、次に掲げるものとする。

一 学級数が、小学校及び中学校にあつてはおおむね 12 学級から 18 学級まで、義務教育学校にあつてはおおむね 18 学級から 27 学級までであること。

二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね 4 キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね 6 キロメートル以内であること。

- 2 5学級以下の学級数の小学校若しくは中学校又は8学級以下の学級数の義務教育学校と前項第一号に規定する学級数の学校とを統合する場合においては、同号中「18学級まで」とあるのは「24学級まで」と、「27学級」とあるのは「36学級」とする。
- 3 統合後の学校の学級数又は通学距離が第一項第一号又は第二号に掲げる条件に適合しない場合においても、文部科学大臣が教育効果、交通の便その他の事情を考慮して適当と認めるときは、当該学級数又は通学距離は、同項第一号又は第二号に掲げる条件に適合するものとみなす。

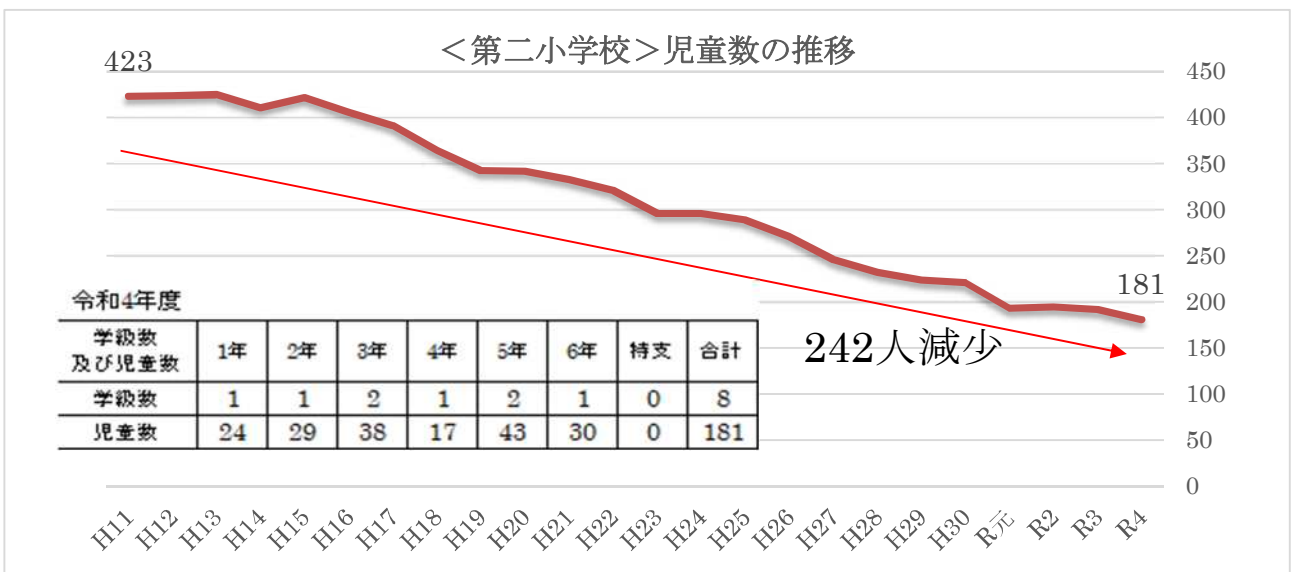
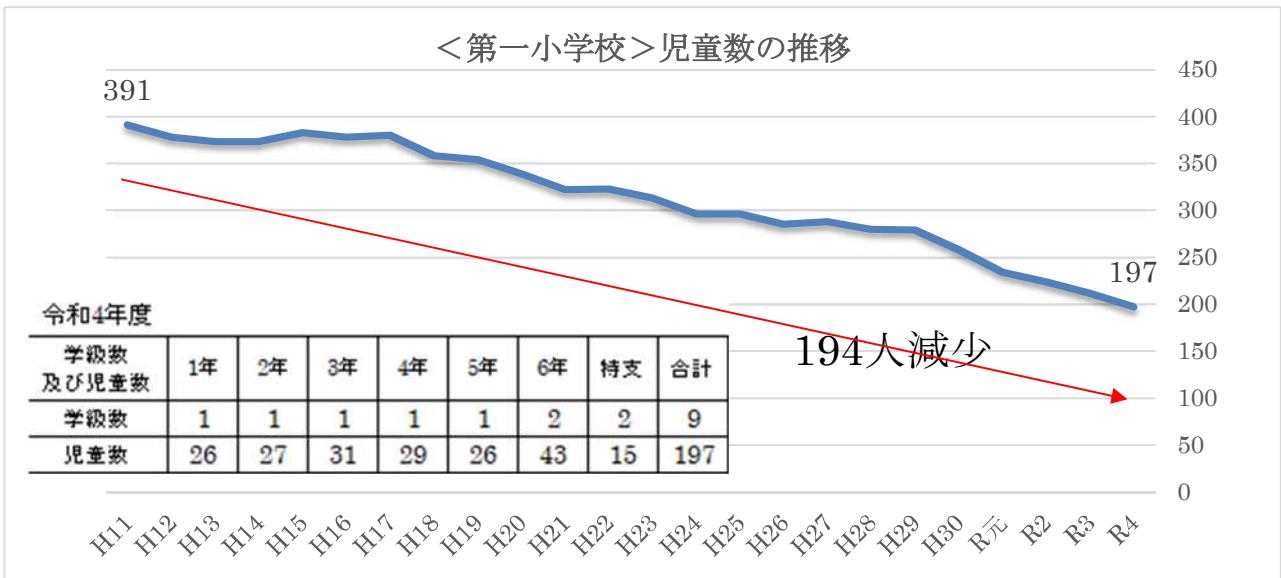
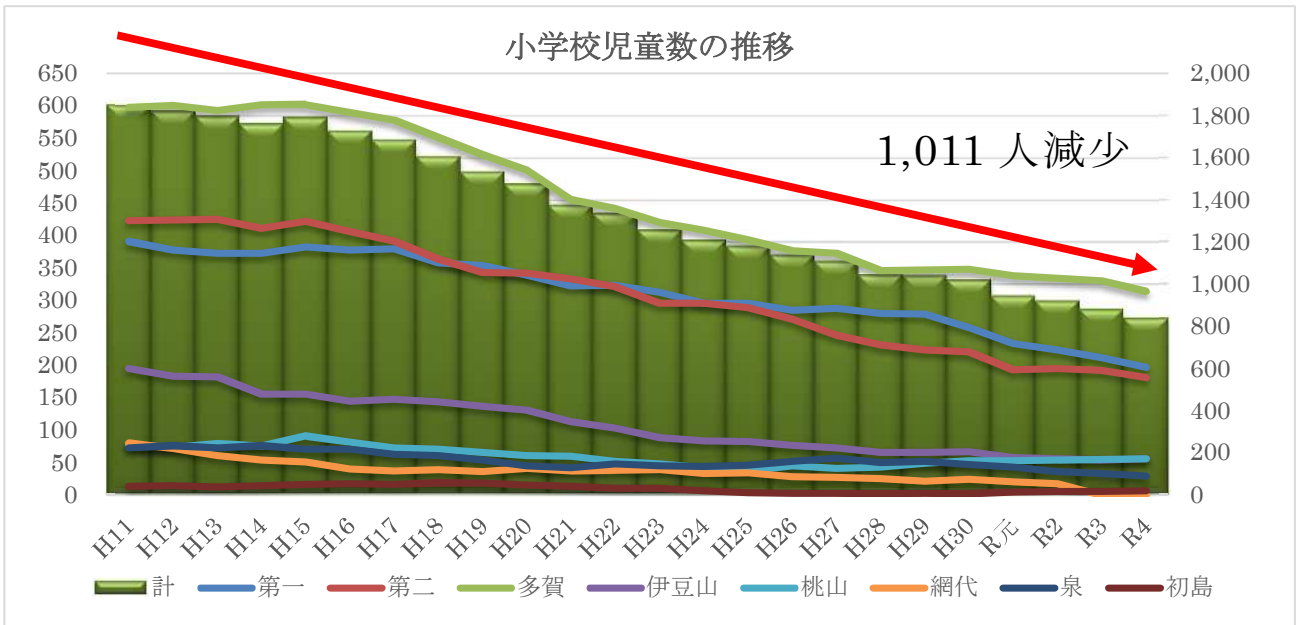
<本市における基本的な適正規模等の考え方>

1. 適正規模、適正配置を検討するにあたり、児童生徒数の状況及び見込みに注視し、各校の学級数、1学級当たりの児童生徒数、複式学級の有無を基本に今後の方針を決定する。その際、複式学級が継続的に、また、複式学級が解消する見込みのない状況である場合には、地域及び在学児童等の保護者等の意思等を考慮したうえ、統廃合の検討を進めることとする。あわせて、幼稚園については、保育需要の高まりを踏まえ、幼保連携型認定こども園への意向を積極的に検討する。
2. 児童生徒数の減少にあわせて、その抑制や増加転換を図るために小規模特認校制度を活用する場合には、他に例のない特色あるカリキュラム等の実施体制等が構築されていることを条件に、安易な制度活用とならないよう制度導入を慎重に検討する。仮に安易な制度導入が行われた場合には、良好な教育環境を整備する観点に反する状況となることに留意する。
3. 地理的特性を有する学校等については、児童生徒数の減少、学級数の減少、複式学級の発生などにより、適正規模等の検討を進める状況にある場合であっても、法令等に基づき機械的に対応せず、今後の地域コミュニティの形成に与える影響や児童生徒の通学環境、並びに、通学環境が及ぼす児童生徒の心身への負担等の影響などを踏まえ検討に着手する。

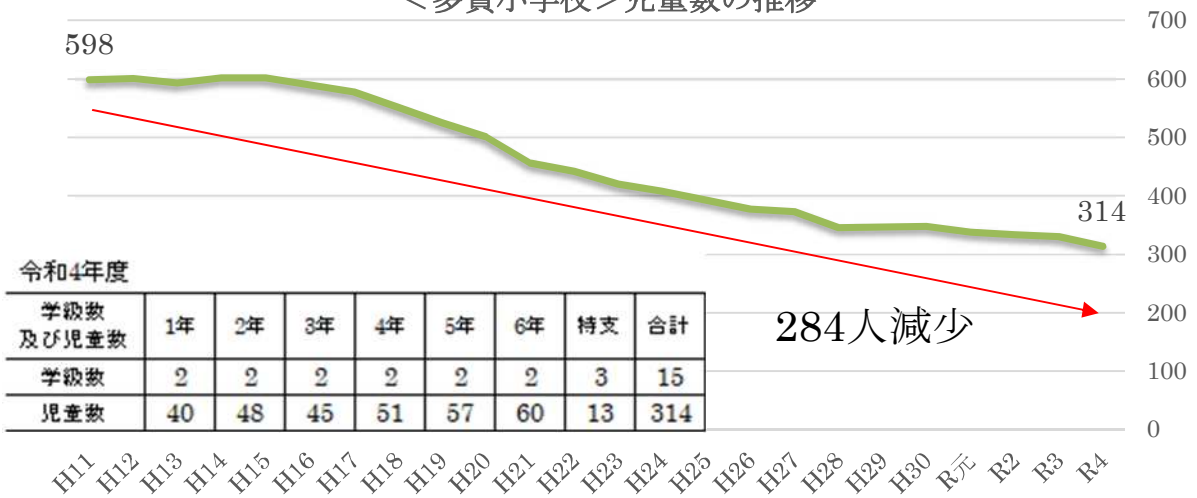
熱海市立小学校 児童数の推移

(単位：人)

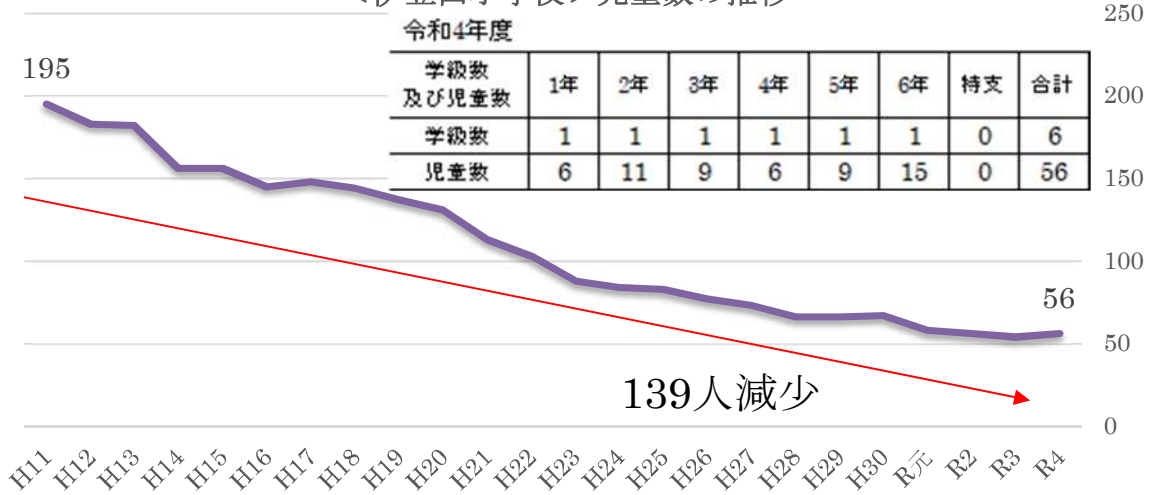
年度	第一	第二	多賀	伊豆山	桃山	網代	泉	初島	計
H11	391	423	598	195	78	80	73	13	1,851
H12	378	424	601	183	74	72	76	14	1,822
H13	373	425	593	182	80	61	73	12	1,799
H14	373	411	602	156	76	54	76	14	1,762
H15	383	422	602	156	91	51	71	16	1,792
H16	378	406	590	145	82	40	71	17	1,729
H17	380	391	578	148	73	37	63	16	1,686
H18	358	364	551	144	71	39	61	19	1,607
H19	354	343	525	137	66	36	54	18	1,533
H20	339	342	501	131	61	41	45	15	1,475
H21	322	333	456	113	60	37	42	13	1,376
H22	323	321	442	103	52	38	48	10	1,337
H23	313	296	420	88	48	39	45	10	1,259
H24	296	296	408	84	42	33	44	7	1,210
H25	296	289	393	83	37	34	46	4	1,182
H26	285	271	377	77	45	28	52	3	1,138
H27	288	246	373	73	41	27	57	3	1,108
H28	280	232	346	66	43	25	50	2	1,044
H29	279	224	347	66	49	21	52	3	1,041
H30	258	221	348	67	53	24	47	2	1,020
R元	234	193	338	58	53	20	43	5	944
R2	224	195	334	56	54	17	36	6	922
R3	212	192	330	54	55	0	33	6	882
R4	197	181	314	56	56	0	29	7	840



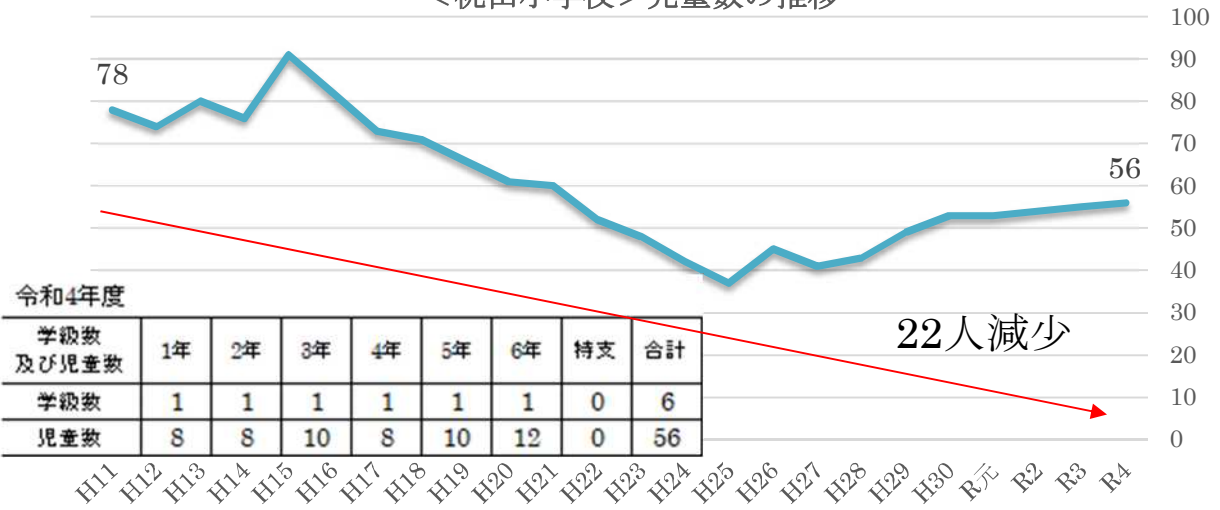
＜多賀小学校＞児童数の推移



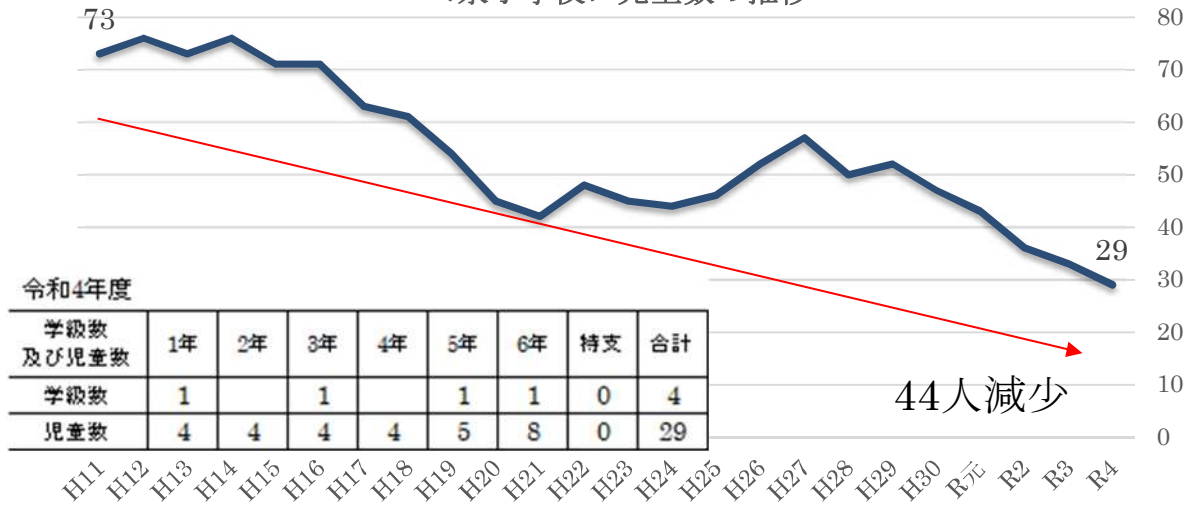
＜伊豆山小学校＞児童数の推移



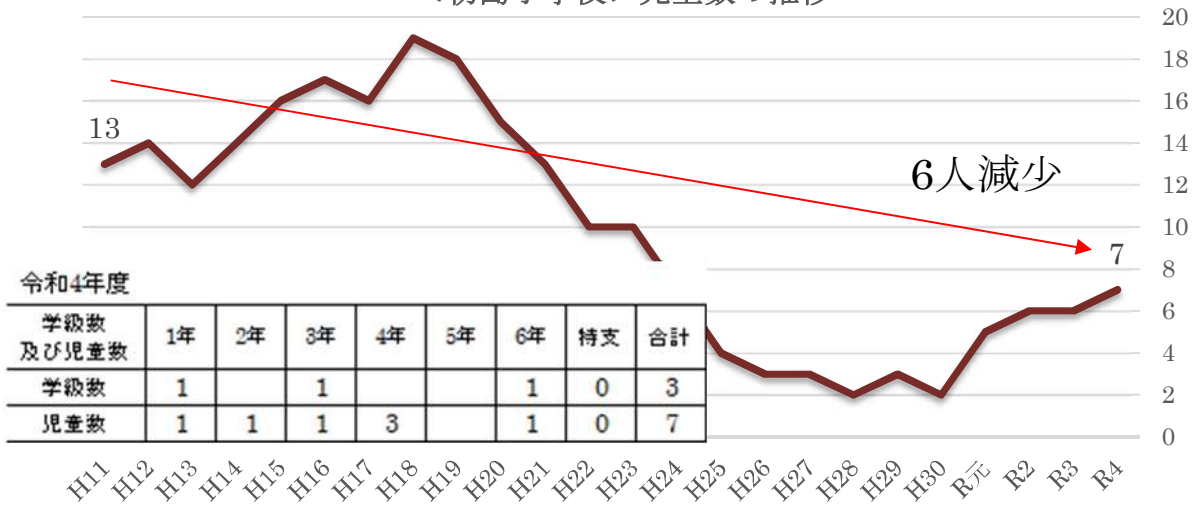
＜桃山小学校＞児童数の推移



<泉小学校>児童数の推移



<初島小学校>児童数の推移

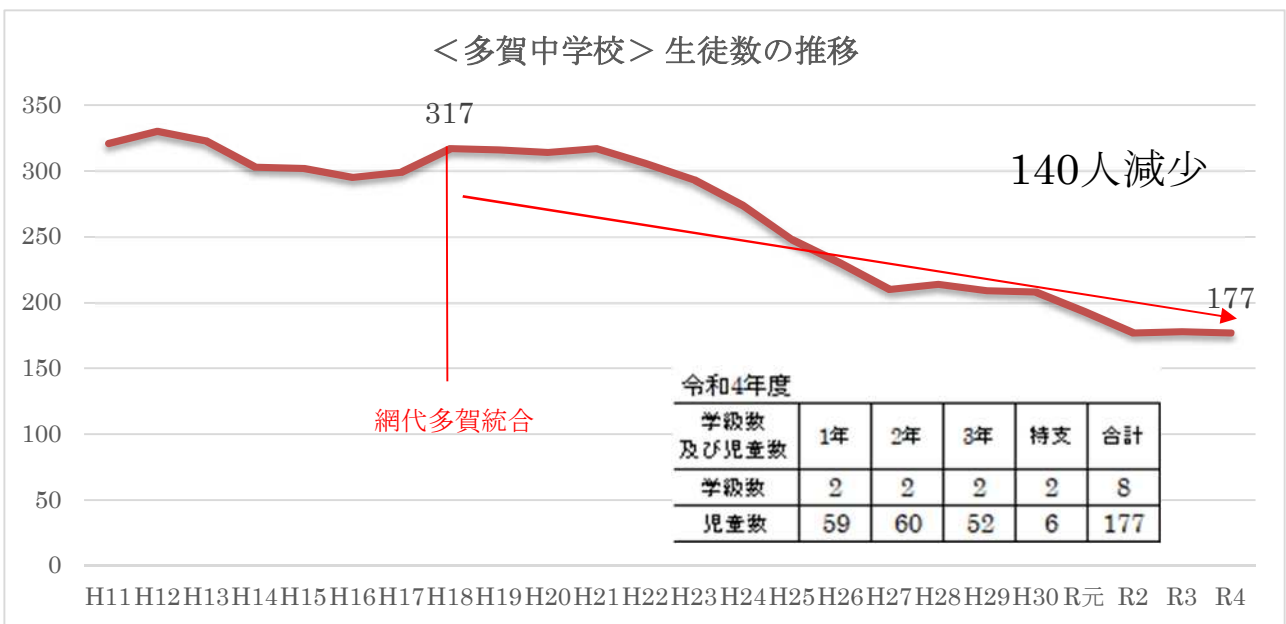
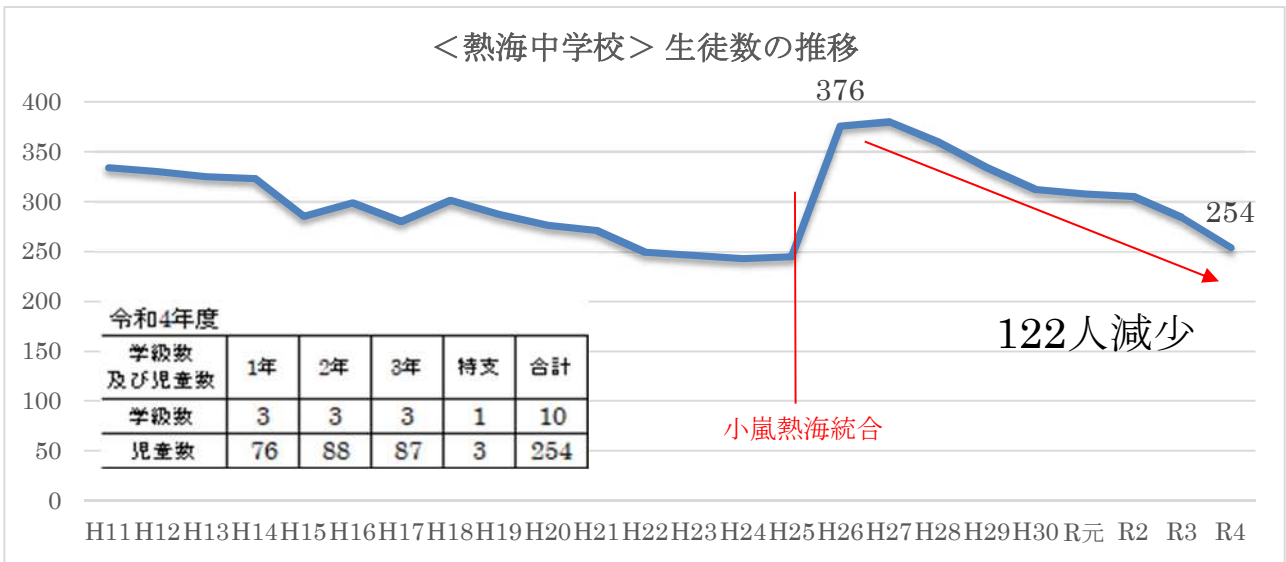
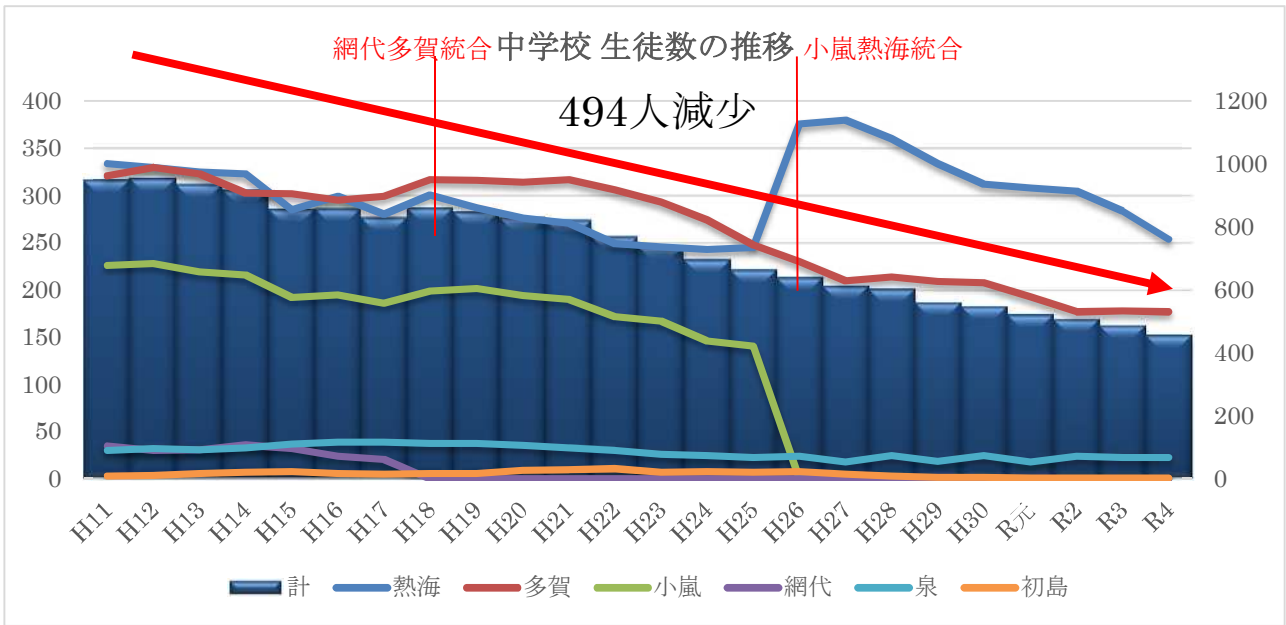


熱海市立中学校 生徒数の推移

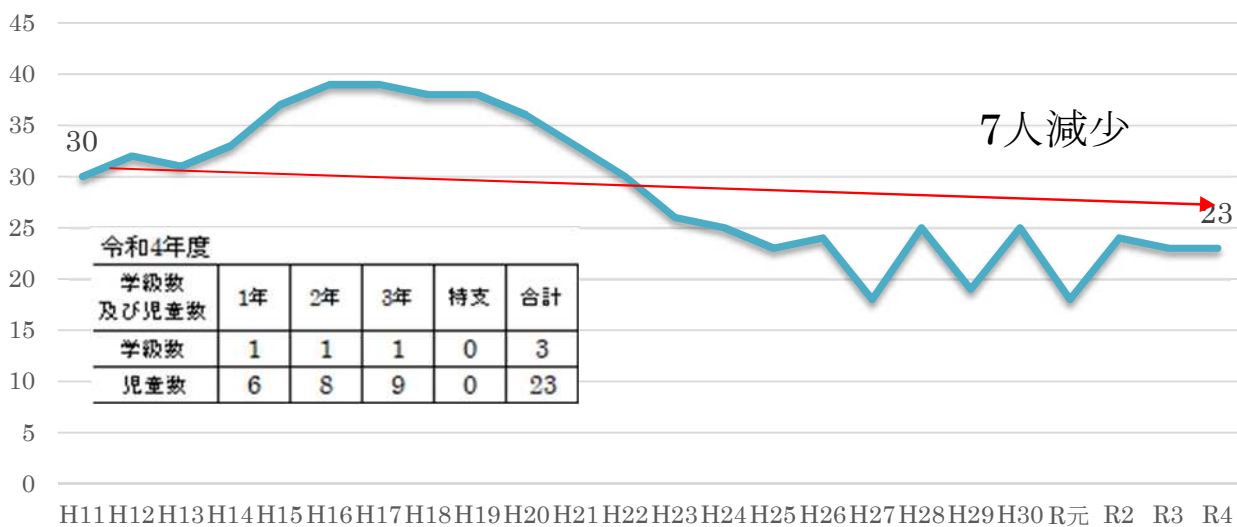
(単位：人)

年度	熱海	多賀	小嵐	網代	泉	初島	計
H11	334	321	226	35	30	3	949
H12	330	330	228	30	32	4	954
H13	325	323	219	31	31	6	935
H14	323	303	216	36	33	7	918
H15	285	302	192	32	37	8	856
H16	299	295	195	24	39	6	858
H17	280	299	186	21	39	5	830
H18	301	317	199	0	38	6	861
H19	287	316	202	0	38	6	849
H20	276	314	194	0	36	9	829
H21	271	317	190	0	33	10	821
H22	249	306	172	0	30	11	768
H23	246	293	167	0	26	7	739
H24	243	274	146	0	25	8	696
H25	245	248	141	0	23	7	664
H26	376	230	0	0	24	8	638
H27	380	210	0	0	18	5	613
H28	360	214	0	0	25	3	602
H29	334	209	0	0	19	2	560
H30	312	208	0	0	25	2	547
R元	308	193	0	0	18	1	520
R2	305	177	0	0	24	1	507
R3	284	178	0	0	23	1	486
R4	254	177	0	0	23	1	455

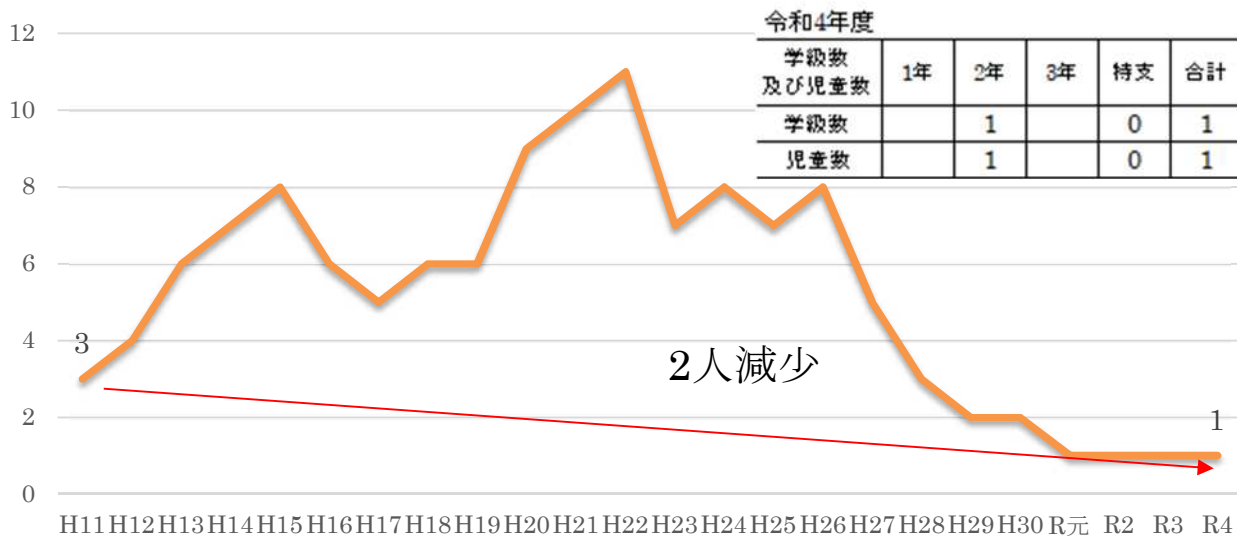




＜泉中学校＞ 生徒数の推移



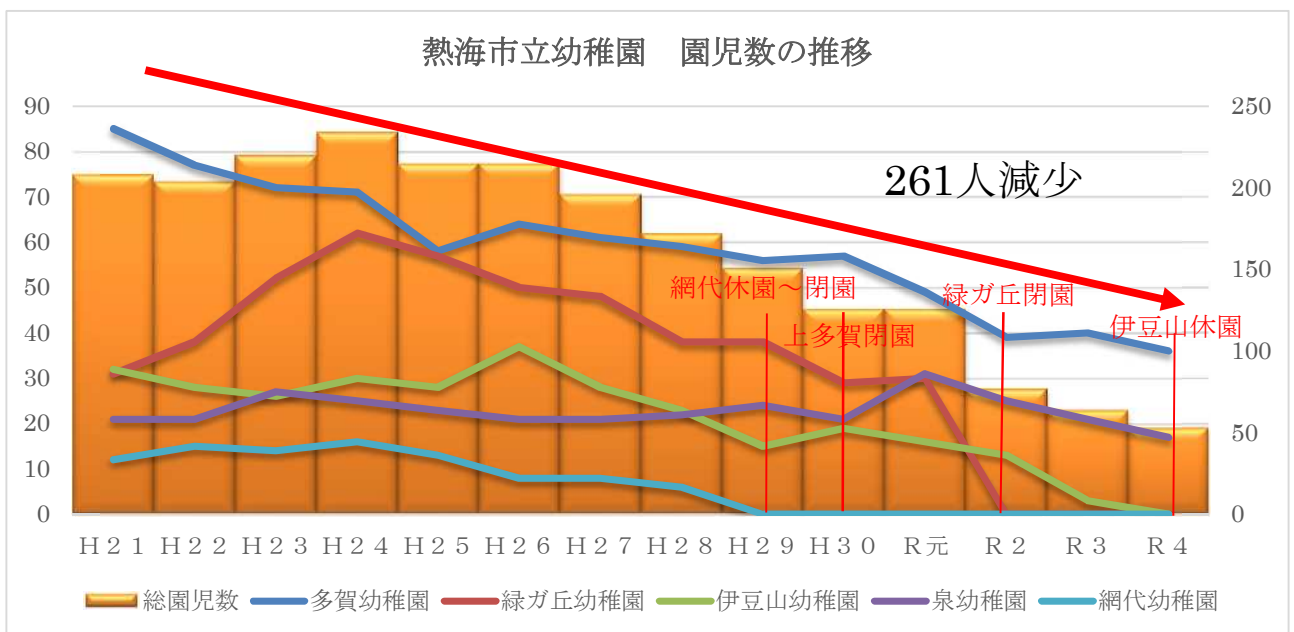
＜初島中学校＞ 生徒数の推移

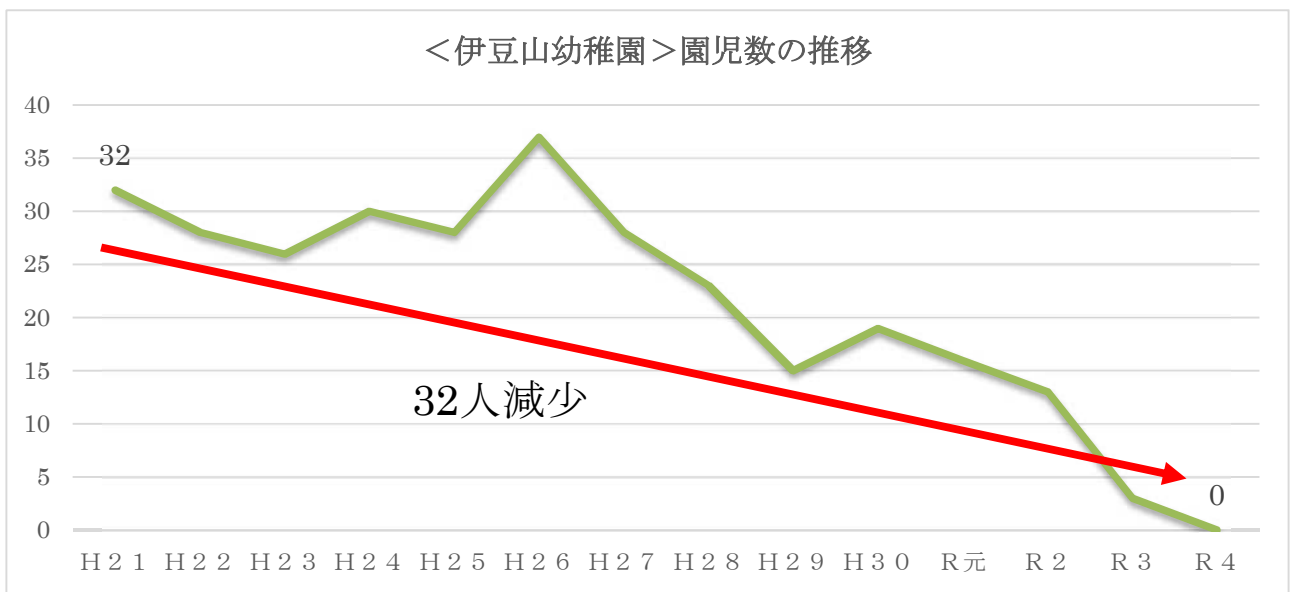
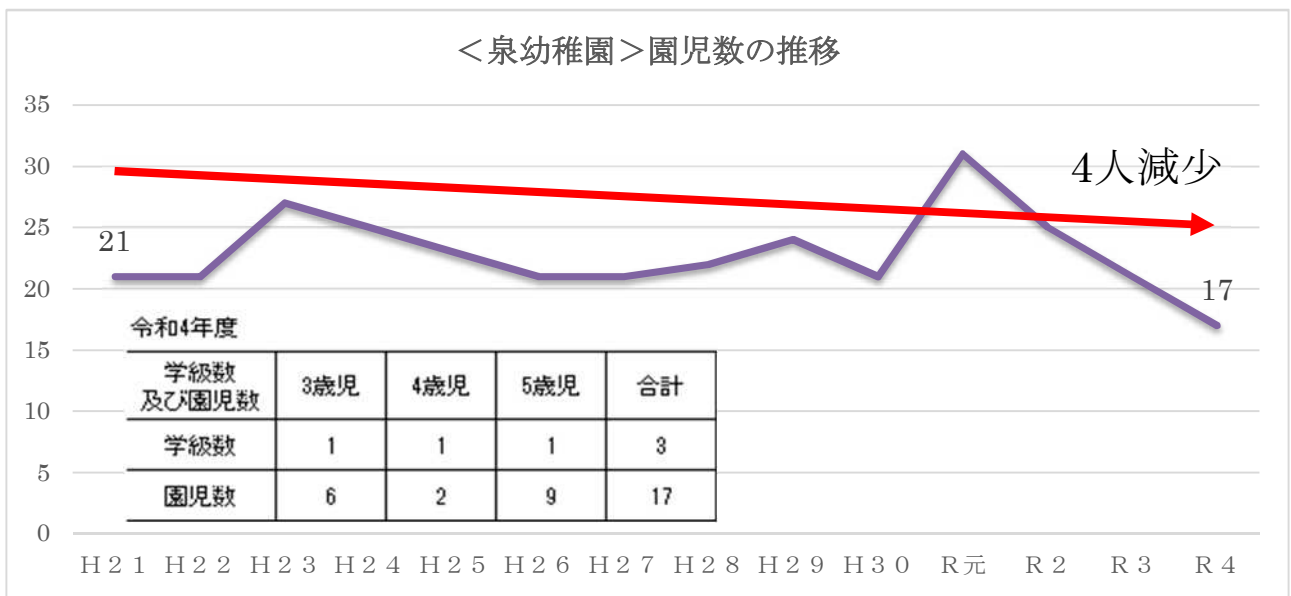
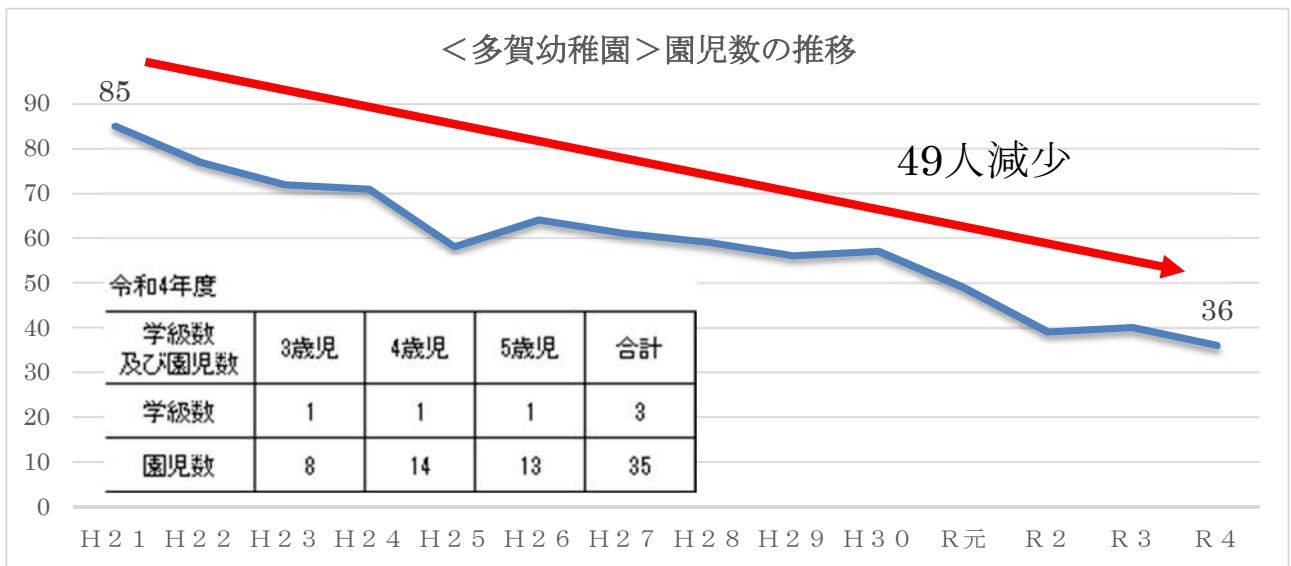


## 熱海市立幼稚園 園児数の推移

(単位：人)

	多賀	上多賀	緑ガ丘	伊豆山	泉	網代	総園児数
H21	85	27	31	32	21	12	208
H22	77	25	38	28	21	15	204
H23	72	29	52	26	27	14	220
H24	71	30	62	30	25	16	234
H25	58	36	57	28	23	13	215
H26	64	35	50	37	21	8	215
H27	61	30	48	28	21	8	196
H28	59	24	38	23	22	6	172
H29	56	18	38	15	24	0	151
H30	57	0	29	19	21	0	126
R元	49	0	30	16	31	0	126
R2	39	0	0	13	25	0	77
R3	40	0	0	3	21	0	64
R4	36	0	0	0	17	0	53





学校等施設の適正規模・適正配置計画（改訂）

園、学校名	方向性（本文抜粋）	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)	11年度 (2029)
第一小学校	熱海市市街地に位置する基幹小学校として維持していく。その際、令和7年度を起点として、「桃山小学校」、「伊豆山小学校」の児童数の推移を踏まえ、両校との統合を検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
						◆統合検討⇒ ⇒ ⇒ ⇒					
第二小学校	今後、中長期的には、認定こども園とともに小学校についても維持していくが、出生数の推移及び就学前教育の需要、小学校児童数の推移を注視していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
多賀小学校	南熱海地区における基幹校として、また、市内小学校において最大児童数を持つ小学校であり、長期的に維持していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
			◆網代小学校と統合⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒								
伊豆山小学校	児童数は、近年及び中期的推計及び実績値ではほぼ横ばいで推移している。今後の児童数の推移に基づき、令和7年度を起点に中期的に市街地に位置する「第一小学校」との統合を検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	◆統合検討（結論）⇒ ⇒					
桃山小学校	児童数は、近年及び中期的推計及び実績値ではほぼ横ばいで推移している。今後の児童数の推移に基づき、令和7年度を起点に中期的に市街地に位置する「第一小学校」との統合を検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	◆統合検討（結論）⇒ ⇒					
網代小学校	令和3年度「多賀小学校」と統合した。	継続	◆多賀小学校との統合⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒								
泉小学校	泉小中学校及び泉幼稚園における教育環境の充実と学校運営の魅力向上を図るため、教職員の配置と教育課程の着実な実施を前提に小中一貫した教育の実施のため「義務教育学校」への移行の可能性を継続して検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
			◆移行可能性検討 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒								
初島小学校	静岡県内唯一の離島に所在する学校として、児童生徒数の如何を問わず、初島小学校及び初島中学校として、維持していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒

園、学校名	方向性 (本文抜粋)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)	11年度 (2029)
熱海中学校	平成26年度に「小嵐中学校」との統合により、市街地の基幹中学校として位置づけている。 今後の生徒数の推移は、中長期的に見て減少の傾向を示しているものの、引き続き現状のとおり維持していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
多賀中学校	平成18年度に「網代中学校」との統合を経て現在に至るが、経年の傾向として生徒数は減少している。中長期的にもこの傾向は継続していく見込みではあるが、南熱海地区の基幹中学校として今後も維持していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒
泉中学校	泉小中学校及び泉幼稚園における教育環境の充実と学校運営の魅力向上を図るため、教職員の配置と教育課程の着実な実施を前提に小中一貫した教育の実施のため「義務教育学校」への移行の可能性を継続して検討していく。	継続⇒	◆移行可能性検討 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒								
初島中学校	静岡県内唯一の離島に所在する学校として、児童生徒数の如何を問わず、初島小学校及び初島中学校として、維持していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒

園、学校名	方向性	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)	11年度 (2029)	
多賀幼稚園	南熱海地区の就学前教育の基幹施設として維持していく。また、保育需要を踏まえ、幼保連携型認定こども園への移行について、継続して検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	
緑ガ丘幼稚園	令和2年度に第二小学校内及び近接に整備された幼保連携型認定こども園に統合した。	◆熱海こども園に統合(閉園) ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒										
伊豆山幼稚園	小学校の統合検討とあわせて、維持継続または、休園等について検討していく。なお、令和4年度において在園児不存在となったことから休園の措置としている。	継続⇒	継続⇒	休園	休園再開	◆閉園検討(結論) ⇒ ⇒						
泉幼稚園	泉小中学校の「義務教育学校」への移行の可能性とともにあわせて維持について検討していく。	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	継続⇒	
網代幼稚園	令和3年度に「網代小学校」と「多賀小学校」との統合により、閉園した。	休園	◆閉園 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒									